

特発性正常圧水頭症 認知症を手術で治す

葛城病院 脳神経外科 部長 山口 和伸

特発性正常圧水頭症
(以下iNPHと略す)

とは脳室に髄液が過剰に溜まり「認知症・歩行障害・尿失禁」を起こす、高齢者に発症する病気です。iNPHは「手術により認知症が改善できる」病態として近年注目されており、日本の高齢者人口の約1・1%、約37万人の患者さんがいるとされています。わが国のように高齢化が急速に進む社会にあってはiNPHの治療は、これらの症状の改善により患者様の自立が高まり、ご家族様の介護負担も軽減され生活の質の向上が可能になると考えられております。

iNPHの主症状の中でも歩行障害が重要

な症状で、最初に出現することが多いと言わ

る。口足が上げづらく、小刻みに少しづつ歩く。口開脚で不安定な歩き方になる。口不意に転倒してしまうことがあり、特に転回するときにふらつきが大きい。口歩くときに、第一歩が出なかったり、床に張り付いたような歩きにくさを覚える。口歩くことができない、または立つと不安定である。

認知症

□最近、物忘れがひどくなった。
□意欲がなくなり、日々習慣としていることや趣味などをしなくなった。
□集中力を維持するのが難しく、ぼーっとしてしまう。

尿失禁

□おしつこい我慢できる時間が非常に短くなった。
□尿失禁または尿失禁状態である。

その他

□表情が乏しくなる。

症状のタイプ

状態

iNPHの症状チェックリスト

症状のタイプ	状態
歩行障害	□足が上げづらく、小刻みに少しづつ歩く。
	□口開脚で不安定な歩き方になる。
	□不意に転倒してしまうことがあり、特に転回するときにふらつきが大きい。
	□歩くときに、第一歩が出なかったり、床に張り付いたような歩きにくさを覚える。
認知症	□歩くことができない、または立つと不安定である。
	□最近、物忘れがひどくなった。
	□意欲がなくなり、日々習慣としていることや趣味などをしなくなった。
尿失禁	□おしつこい我慢できる時間が非常に短くなった。
	□尿失禁または尿失禁状態である。
その他	□表情が乏しくなる。

安定になり、足が上げづらく、すり足になり、歩幅も小刻みになります。そして足を広げて歩くようになることが特徴です。方向転換時によろめきが強くなり転倒することがあります。認知症は自発性が無くなり、思考や行動面での緩慢さが目立つようになります。また趣味をしなくなったり、物事への興味をなくしたり、我慢できる時間が短くなったりします。

iNPHは髄液の吸収障害が原因で発生すると言われています。CTやMRIでiNPHに特有な所見があり、他に歩行障害の原因となるものがなければ手術適応ありと診断します。また特

な所見には腰椎穿刺を行って一時的に髄液を排泄し、症状のいずれかが

改善すれば手術適応あります。

治療は過剰な髄液を排泄させることが目的となります。代表的な手術方法として脳室腹腔シャント術と腰椎腹腔シャント術があり、症例に応じて手術方法を選択します。手術時間は約30分で入院期間は約2週間です。術後の症状改善率は歩行障害が約9割、認知症と尿失禁は約8割となっています。

火曜(朝・夜診)

●朝診… 9:00～(受付 8:00～11:30)
●夜診…17:00～(受付16:00～19:30)

山口和伸医師外来のご案内

△火曜(朝・夜診)

- 朝診… 9:00～(受付 8:00～11:30)
- 夜診…17:00～(受付16:00～19:30)



医療法人大植会 葛城病院

TEL.072-422-9909(代) 岸和田市土生町2-33-1

【外来診療時間】9:00～11:30/13:00～16:00/17:00～19:30 ※科目により時間が異なります

【診療科目】●内科 ●循環器内科 ●消化器内科 ●血液内科 ●糖尿病内科 ●外科 ●心臓血管外科 ●消化器外科 ●肛門外科 ●整形外科 ●脳神経外科 ●形成外科 ●リウマチ科 ●皮膚科 ●泌尿器科 ●眼科 ●リハビリテーション科 ●放射線科
【センター】●下肢静脈瘤治療センター ●健診センター ●人工関節センター ●脊椎外科センター



行うことが大切です。PHを診断し、治療を行うことが大切です。で「iNPHの症状チェックリスト」で気になる症状があれば専門医への受診をおすすめします。